

ながの環境パートナーシップ会議  
平成22年度第5回 幹事会 会議記録

日 時 平成22年9月2日(木)18時15分から19時30分

場 所 会議室23(市役所第二庁舎7階)

出席幹事 6人

(高木、金井、渡辺、中村、安藤、水野)

欠席幹事 1人

(弓場)

会議内容

- 1 環境総合センター設置スペシャルプロジェクト市長提案内容報告  
本日午後2時から行われた、新第一庁舎への環境総合センター設置の鷺澤市長への提案書提出とプレゼンテーションについて、高木副代表幹事から報告があった。詳しくは 主な意見・質疑等に記載。
- 2 スキー場跡地の自然復元プロジェクトの予算再検討について  
再検討2項目のうち、広報リーフレット作成・配布の21,000円は承認されました。圃場借地料及び管理料は、主な意見・質疑等の 印部分について確認し、10月の幹事会にて再検討することになりました。
- 3 信州環境フェアスペシャルプロジェクト活動報告  
資料により事務局から報告。渡辺幹事からも報告があった。詳細は 主な意見・質疑等に記載。折り紙代とボランティアの方のお弁当代を予備費から流用することについて承認された。
- 4 ふれあいまつりについて
  - (1) 9月13日(月)の市役所内チケット販売について  
渡辺幹事が出席することになった。
  - (2) 当日スタッフ募集と広報について  
みどりの市民と事務局で打合せし、メールなどでお知らせする。
  - (3) 必要経費について  
確定している机2台の使用料1,260円と、消耗品について、予備費から支出することについて、承認された。
- 5 排出権取引ワークショップについて  
申し込み状況について事務局から報告。9月2日現在で3名。エコサークルにメールかちらし送付・チームにもお知らせすることになった。
- 6 レジ袋削減アンケート調査について  
渡辺幹事から説明があった。パートナーシップ会議レジ袋使用削減チームとして協力をしていく、ということが承認された。
- 7 プロジェクトチーム活動報告  
太陽エネルギー普及促進、食品トレイ・レジ袋使用削減、生ごみの削減・再利用システム構築、市民の森づくりプロジェクトから報告があった。

## 8 新会員承認について

- ・1団体申し込みがあり、承認された。保険手続きを行う。
- ・信大工学部について、現在工学部環境ISO学生委員会で団体登録しているが、工学部全体で団体登録し、学生が参加しやすいようにしたいと会員の錦織さんから相談があった。なので、「工学部」として申込書を出していただき、次回の幹事会で承認することになった。

## 9 その他

長野市環境基本計画策定のためのアンケートの内容について、幹事のみなさんにご意見いただいた。しっかり反映させて、9月10日をめどに実施する予定。

### 今後の日程等

#### 幹事会

- (1) 日時・場所：10月4日(月)18:00～ 会議室6(市役所第二庁舎4階)
- (2) 内容：プロジェクトチームの活動状況報告、ふれあいまつり報告、旅費規程の見直し・プロジェクト見直し・ロゴマーク募集ほか。

### お知らせ

会費について、8月末が納入期限となっています。お支払いがまだの方、よろしく願いいたします。取りまとめについて、チームリーダーさん、お願いいたします。支払いについては郵便局口座への振込みも可能です。手数料は振込み者負担ですが、ご希望あれば事務局へお知らせください。

### 主な意見・質疑等

#### 1 環境総合センター設置スペシャルプロジェクト市長提案内容報告

##### 【高木副代表の報告】

本日午後2時から40分くらい、市長、総務部長、環境部長、地球温暖化対策室長にセンター設置の提案書提出とパワーポイントでのプレゼンテーションを行った。提案書の内容は資料のとおり。市長は、乗り気な雰囲気ではない。あとは庁内プロジェクトの中での交渉になると思われる。

必要性や主旨を庁内で理解してもらえるかどうか。

真正面からの環境問題がどのくらい重要で、環境学習の場として必要だと。環境保全協会に行って子供たちが学習できるかといったら、出来ないの、それも説得材料にしていれば。

簡単ではないと思いますが。

この提案内容は、本当はこの幹事会で承認いただいて市長に出す予定だったが、市長日程の都合でできなかった。この報告と、提案書の内容についてこの場で承認いただければと思うが、どうか。

この後、結果はすぐに出なくても、経過のようなものはどうなのか。

まだ市民会館が決着ついていない。権堂がだめで、庁舎と併設ということになると、庁舎の規模が変わってくる。庁舎内でもプロジェクトがあって、これから基本計画を作る。でもそれはまだ先の話。今月中に一度庁内で提案する機会があるので、そこでP会議からの提案についてもお話できると思う。

#### 2 スキー場跡地の自然復元プロジェクトの予算再検討について

- ・賃借料の9万円は毎年かかるのか。  
そのとおり。
- ・これは、9万円以外にボランティアの方に農業所得のこれだけ払いたいということなのか。

それは違うのでは。9万円払うための根拠として、こういうことも考えてくださいということなのでは。所得保障というわけにはいかないが、これだけは支払いたいということではないか。それが妥当かどうかということ。

10畝にすると30万円、農業所得のこの計算でいくと184万円まで、これでいくと高くないということだが、このように比較してもいいものなのか。これと比較することで、この金額だけ出しとくのがいいのかという話しになる。でも、自分たちも遊休農地を借りているので、高いなと思ったりする。

苗木を何本植えるか分からないが、ハウスでやるのか、植えといてかぶせるのか。3畝というのは適当な面積なのか。苗木をどのくらい植えられるのか。

普通は3年くらいまでは植えたまま育てて、その後植樹する。10センチ間隔位でどんぐりをまいて育てる。

3畝だと、3万本の苗木が育てられる計算か。そのくらいは必要か。

育つまでは年間9万円は毎年かかる。最低でも3年か。

棚田のオーナー制度がどのくらい手を入れるのか分からないが、同じくらい苗木もかかるのか。棚田は水の管理もあるし。

棚田や花の管理と比べると、違いすぎるのでは。確かに草取りもあると思うが。しっかりした圃場にしなければいけないのだろうか。休耕田とかではだめなのだろうか。

プロジェクトメンバーの皆さんはなにをするのか。メンバーが管理することは出来ないのか。それであれば土地の借地料だけですむが。

どんぐり拾いの時期に間に合うのであれば、いちどプロジェクトの方に説明に来ていただければどうか。

では、管理料について、どんなことをお願いしていくのか、プロジェクトのメンバーの方はそこには関わらないのか、メンバーはなにをしていくのか、管理料は何年かかることを想定しているのか、ということをお願いしたい。金額の高い・安いでなく、どこからどこまでを自分たちでやり、どこまでを任せるとかをはっきりさせたい。このあたり、文章にさせていただいて、幹事全員が納得できればそれで承認でもいいし、10月の幹事会でお話いただいてもいいが。苗木を植えるスキー場は、特にこういう借地料や管理料などが発生するのか、スキー場を管理する観光課とはどのような話しになっているのか、将来のことも含めて、教えていただきたい。

リーフレットについては、5000部でも4円とかそのくらいでやってくれる業者があれば地元の業者でもいいと思う。リーフレットは、この予算で承認とする。

印刷費・送料込みで21,000円

### 3 信州環境フェアスペシャルプロジェクト活動報告

当初の目的は、P会議への参加を募りたいというものだった。だが、参加者自体が子供が多く、難しかったと思う。

長く参加していれば、P会議というものが人目にふれて、浸透していくと考えていけばいい。即効性を求めるのは難しい。

### 4 ふれあいまつりについて

特になし。

### 5 排出権取引ワークショップについて

特になし。

## 6 レジ袋削減アンケート調査について

特になし

## 7 プロジェクトチーム活動報告

- ・生ゴミチームから、三重県への視察について、人数が今確定していない。宿泊費と交通費が一人18,000円。ハイエースを借りていくが、7.8人くらいになると思う。ハイエースレンタル料が20,000円くらい、あとガソリン代と高速代か。すると、18,000円×8人だと144,000円。これは予算計上されている。

旅費規程では、事前に幹事会の承認が必要とされている。

宿泊代や交通費は規程で決められているので、それであればいいと思うが、全員で行くのはどうか、という問題がある。

やはり全員できるだけ一緒にみてきたいという思いがある。

この話しは前にもあったが、このことは、こういう視察の場合は、市のように何人までならいいという決まりがあったほうがいい。予算については認められているものなので、それでいい。

これは、もとの規程をしっかりと作らないと、こういうことが何度も出てくる。

それでは、今回のこの視察は、7.8人で予算の中でおさまるので、これで承認とし、これからはこういう目的でこの人数が必要だということを出してもらうということなどを検討していくということによいか。

研修と視察は違う。グループ全員で行くという「研修」であれば、自己負担があってもおかしくない。視察というのは業務上とことと考えている。研修であれば、上限はここまでで、人数は何人でいくらの予算で、というのを規程でしっかり決めれば、参加するほうも気持ちよく参加できる。

旅費規程については、旅行や交通費についてもあいまいな部分が多い。10月以降にこの見直しをしていきたい。

では、生ゴミの9月の視察については、承認ということによろしいか。承認。

- ・11月に芹田の住民自治協議会と上田に視察に行く予定。これは市のバスを借りるので、高速代位ですむと思う。

この分は予算計上していない。

この視察の目的は？

家庭やスーパーの生ゴミ、上水道汚泥で作っている堆肥を見に行く。

この件はまた10月にお聞きしたい。見に行ってからその後について、どのように生かしていくのか。企画書の形で出していただければ。

## 8 新会員承認について

- ・団体会員の会費について、個人会員と同じでなく、検討していく余地があると思われる。